

1. 受 理 番 号 請願第 10 号

2. 受 理 年 月 日 令和 5 年 11 月 27 日

3. 請 願 の 件 名

大津市の介護保険給付準備金「55 億円」を活用して、介護保険料の引き下げを求める請願

4. 紹 介 議 員

杉浦 智子、林 まり、柏木 敬友子、小島 義雄、中川 哲也

5. 付 託 委 員 会 教育厚生常任委員会

6. 請 願 趣 旨 別紙のとおり

## 【別 紙】

### [請願趣旨]

2000年に介護保険制度が始まりましたが、改定されるたびにサービス内容が低下する一方で、介護保険料の値上げが続いています。現在、第9期の大津市介護保険事業計画（2024～2026年の3年間の計画）の検討がされています。その論議の中で、大津市には55億円という巨額の「介護保険給付準備金」の存在が明らかになりました。このお金は、計画に従って市民から集めた介護保険料から、給付した介護保険運営費を引いたもので、見込みと違って保険料を取り過ぎた結果といえるものです。第9期の計画にあたっては、市民に本来還元すべきものです。市民は、介護保険料が高いと感じており、一部負担も高いためにサービスを控えているのが実態です。

そこで、当会として、この問題を広く市民に知って頂く取り組みを進めています。貴会の皆様に下記の申し入れを致します。

以上の趣旨から以下の項目の実現を強く求め請願を致します。

### [請願項目]

1. 第9期の介護保険事業計画立案にあたっては、介護保険給付準備金「55億円」を活用するなどして、介護保険料を引き下げることを。